

〔半紙幼年・1年生〕

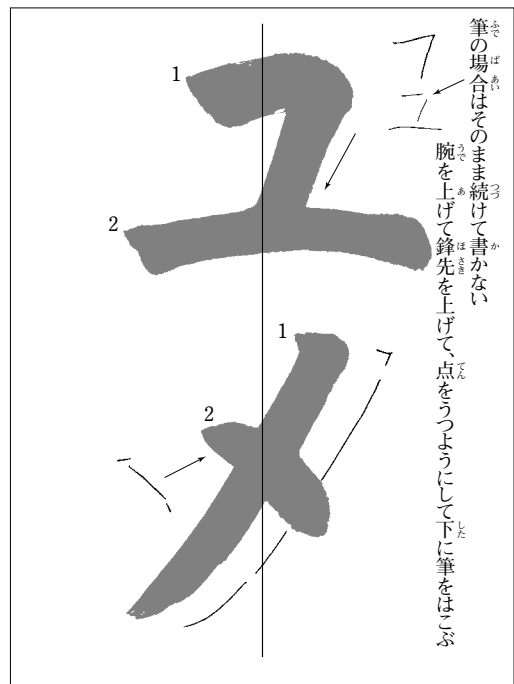
ユ  
メ

石橋鯉城先生書



☆名前はなるべく漢字で書きましょう。  
☆名前もさくひんのいちぶです。ていねいに書きましょう。

てほん  
手本のならいかた



ここに  
ちゅうい  
幼・1年生

ねらい  
★転折（おれ）、はらいのれんしゅう。

学習のポイント

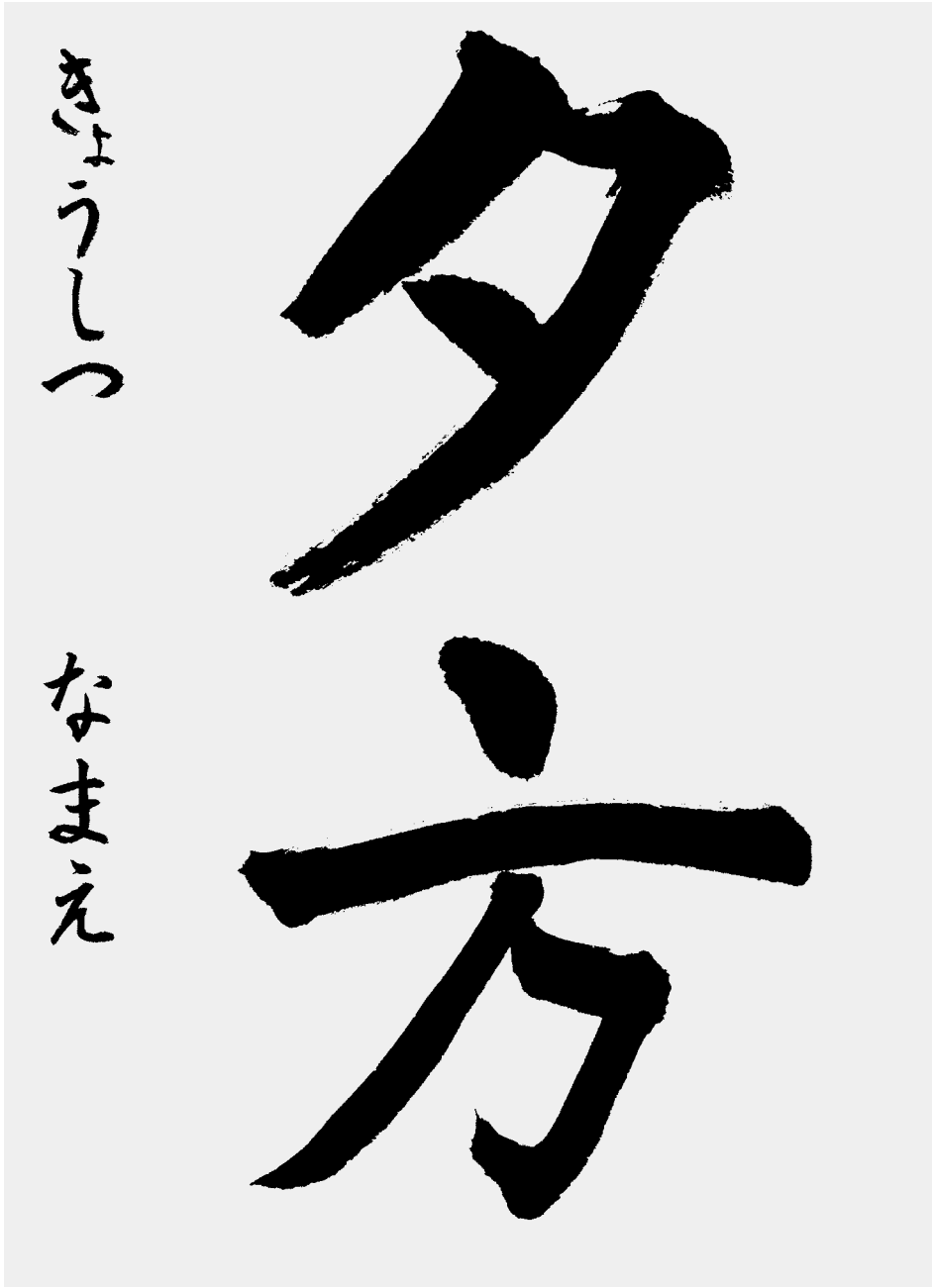
ユ：転折（おれ）のれんしゅうをしつかりとしよう。二かくめはやや下にそるよう。

メ：一かくめは中心より少し右から、力強くゆつたりとはらいます。一かくめから二かくめへと気持ちを引きささないように気をつけよう。

〔半紙 2年生〕

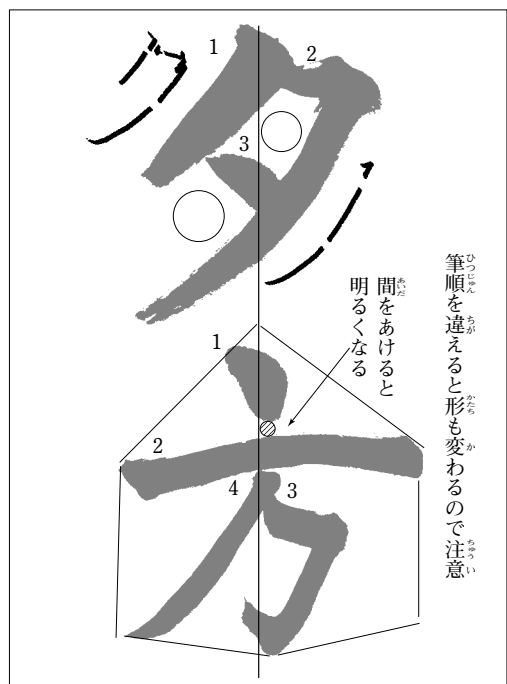
夕方

石橋鯉城先生書



☆名前はなるべく漢字で書きましょう。  
☆名前もさくひんのいちぶです。ていねいに書きましょう。

てほん  
のならいかた



ここに  
ちゅうい 2年生

ねらい

★「夕方」のお手本でナナメの線の書き方をれんしゅうします。

★「夕」も「方」も中心の取りにくい字です。夕テにならぶように書こう。

学習のポイント

夕…一かくめは長くならないように、三角の点をのばすようにします。

方…とくにひつじゆんに注意してください。  
大人もまちがえやすいところです。

〔半紙 3年生〕

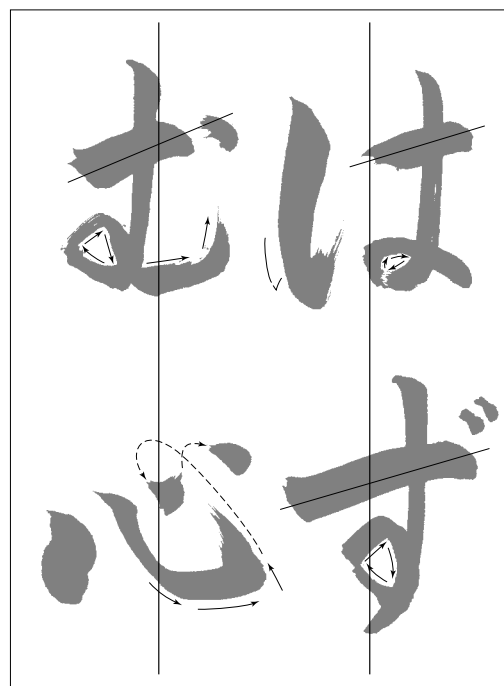
はずむ心

石橋鯉城先生書



☆名前になるべく漢字で書きましょう。  
☆名前もさくひんのいちぶです。ていねいに書きましょう。

手本のならいかた



ここに 3年生  
ちゅうい

ならい

★書くときの姿勢をつくる。椅子での腰掛け方は上半身が前後左右に自由に動くように、膝の真下につま先を着く形にする。

学習のポイント

「は」「す」「む」ではむすびが三ヶ所見られます。むすびは筆の鋒先をうかせるようにして、三角をつくるようにして形をつくりまします。

心…点の位置を考えよう。三・四面めの点は二画めのハネをまたぐように。

# 〔硬筆幼年〕

しめなわ かどまつ

堀津節子先生書

か	し
ど	め
ま	な
つ	わ

※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

★用具は鉛筆（またはフェルトペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。

## てほん 手本のならいかた


▲とめてほうこうをかえる  
 ※中心の線は下じきに入れて書きましょう。  
 ◎あきに注意

☆名前は、なるべく漢字で書きましょう。課題と同じようにていねいに書くようにしましょう。  
 ☆鉛筆の濃さは、2Bか3Bであることがのぞましい。

# 〔硬筆 1年生〕

はつ日の出 コマまわし

堀津節子先生書

コ	は
マ	つ
ま	日
わ	の
し	出

※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

★用具は鉛筆（またはフェルトペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。

## てほん 手本のならいかた


▲とめてほうこうをかえる

○同じ広さ

◎あきにご注意※中心の

線は下じきに入れて書きましょう。

☆名前 は、なるべく漢字で書きましょう。課題と同じようにていねいに書くようにしましょう。

☆鉛筆の濃さは、2Bか3Bであることがのぞましい。

# 〔硬筆 2年生〕

中にわで雪だるまを作った

を	中
作	に
っ	わ
た	で
	雪
	だ
	る
	ま

堀津節子先生書

## てほん 手本のならいかた


※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

★用具は鉛筆（またはフェルトペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。

※上をそろえた書式で書いています。  
※伝統的な毛筆表現にならって句読点を省いています。

▲とめてほうこうをかえる ○同じ広さ ◎あきにご注意

※中心の線は下じきに入れて書きましよう。

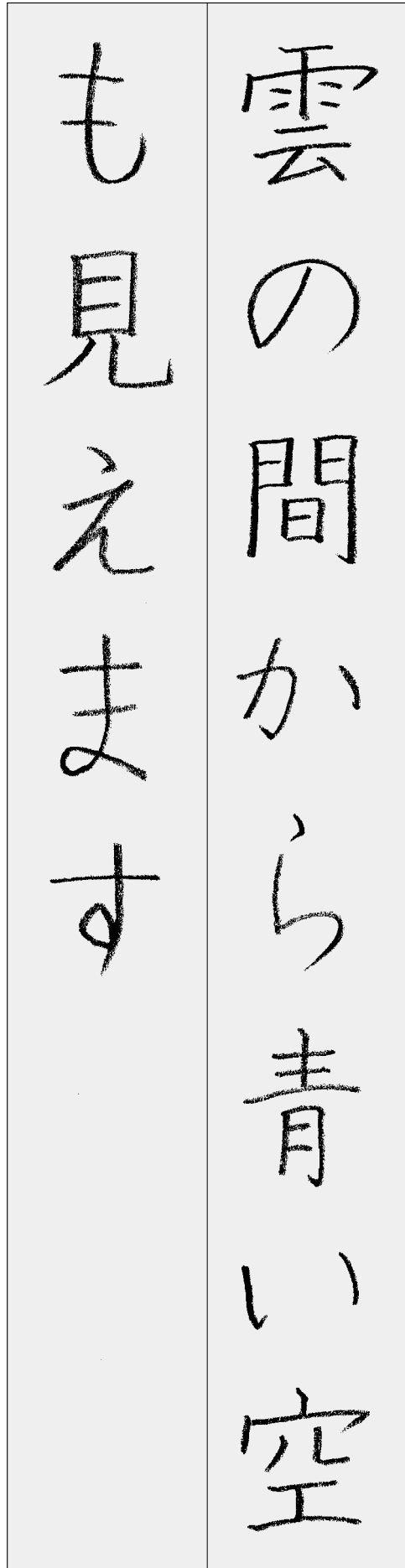
☆名前は、なるべく漢字で書きましよう。課題と同じようにていねいに書くようにしましよう。

☆鉛筆の濃さは、2Bか3Bであることがのぞましい。

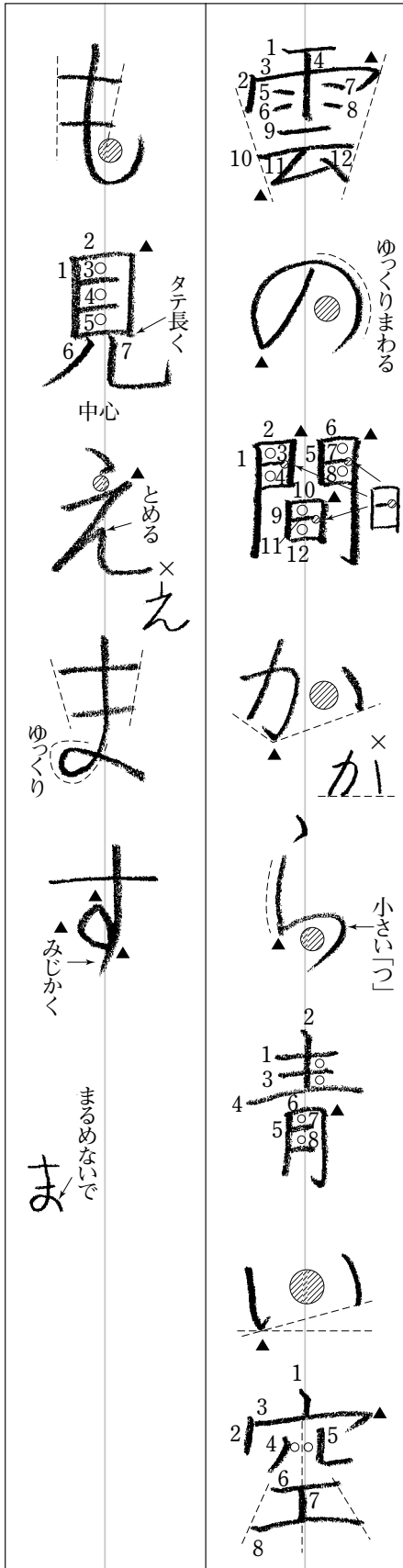
〔硬筆 3年生〕

雲の間から青い空も見えます

堀津節子先生書



てほん 手本のならいかた



※上をそろえた書式で書いています。  
※伝統的な毛筆表現にならって句読点を省いています。

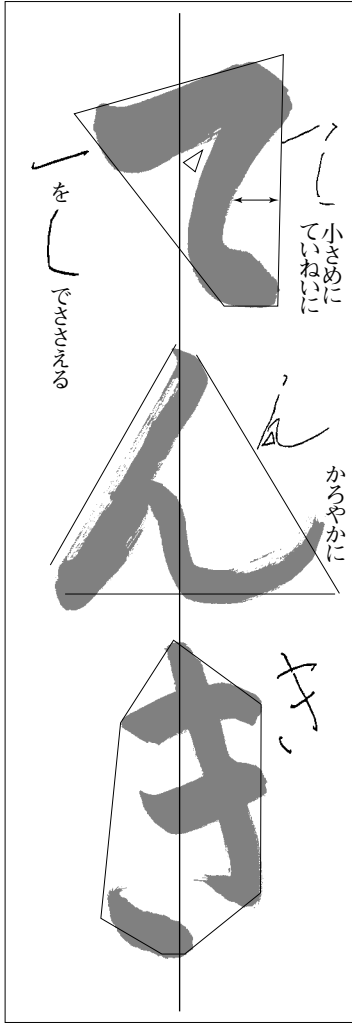
▲とめてほうこうをかえる

○同じ広さ  
◎あきかに注意

★用具は鉛筆（またはフェルトペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。

☆名前は、なるべく漢字で書きましょう。課題と同じようにていねいに書くようにしましょう。  
☆鉛筆の濃さは、2Bか3Bであることがのぞましい。

てほん  
手本のならいかた



ここに  
ちゅうい 幼・1年生

ねらい  
★中心ちゅうしんに気きをつけよう。  
★全体ぜんたいの流れながやまとまりまとまりを考えかんがえよう。  
スミをタップリつけて、ニジマナイように書かこう。  
ひらがな三字さんじのお手本てほんでは、そんな筆かえづかいにナレルこ  
とができます。



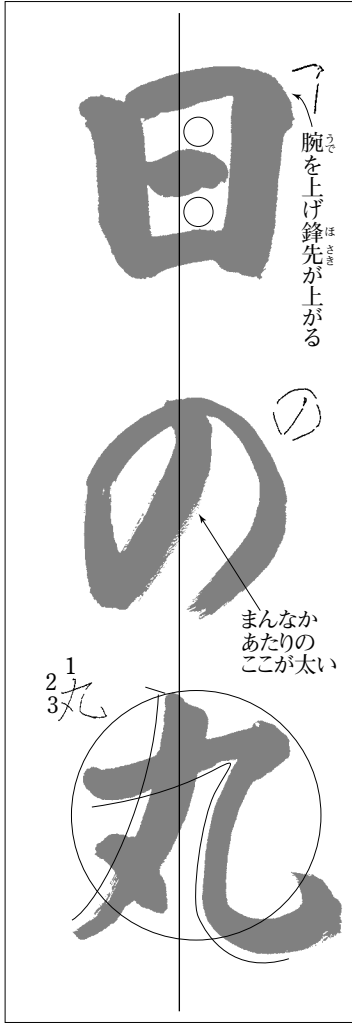
てんき  
〔条幅幼年・1年生〕  
じょうふくようねん

石橋鯉城先生書  
いしばしりじょう

※条幅作品じょうふくさくひんでは、いきおいを出すため、筆ふでづかい  
を工夫くふうして書きましよう。筆の鋒の弾力はほんだんりよく（バネ）  
を使って、のびのびと。  
※書き終わかきおわったら、少しすこはなれて、字じの大きさや  
線せんの太ふとさがよいか見みましよう。  
※名前なまえはしあげです。全体ぜんたいを見て入れましよう。



てほん  
手本のならいかた



ここに  
ちゅうい 2年生

ておこしう。

日本の旗を「日章旗」とも言います。  
「丸」は「九」に点がついた形なので、その筆順を覚え

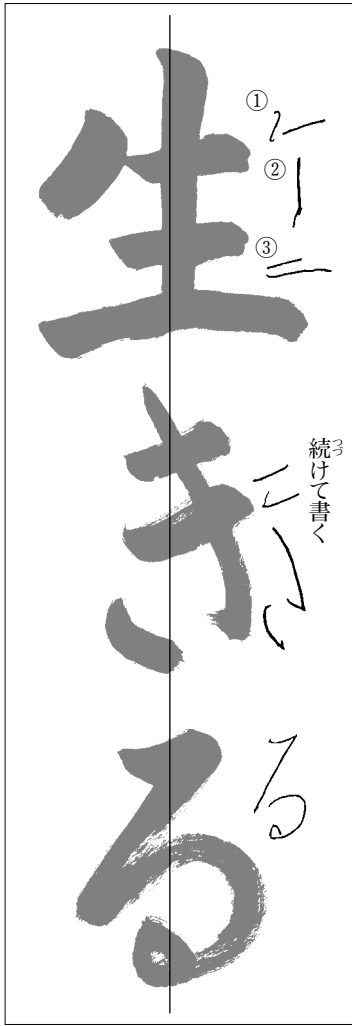
- ねらい
- ★中心に気をつけよう。
  - ★筆使いや筆の運び方を習おう。
  - ★全体の流れやまとまりを考えて表現しよう。

〔<sup>じょう</sup>条幅<sup>ふく</sup> 2年生〕  
日<sup>ひ</sup>の丸<sup>まる</sup>



石橋鯉城先生書

- ※条幅作品では、いきおいを出すため、筆づかいを工夫して書きましょう。筆の鋒の弾力（バネ）を使って、のびのびと。
- ※書き終わったら、少しはなれて、字の大きさや線の太さがよいか見ましょう。
- ※名前はしあげです。全体を見て入れましょう。



〔<sup>じょう</sup>条幅<sup>ふく</sup> 3年生〕

生  
き  
る



石橋鯉城先生書

ここに  
ちゅうい 3年生

- ならい
- ★中心に気をつけよう。
  - ★漢字とひらがなをバランスよく紙面におさめよう。
  - ★運筆の呼吸をつかみ、リズムよく筆を運ぼう。

※条幅作品では、いきおいを出すため、筆づかいを工夫して書きましょう。筆の鋒の弾力（バネ）を使って、のびのびと。

※書き終わったら、少しはなれて、字の大きさや線の太さがよいか見ましょう。

※名前はしあげです。全体を見て入れましょう。